

第6回 グランプリ 2019



株式会社コクヨ工業滋賀(滋賀県)

ヨシでびわ湖を守るリエデンプロジェクト

琵琶湖のヨシ刈りや外来魚駆除などの活動を通じて地域の自然に関わり、その生物多様性の資源保護のために地域と連携した取り組みを行っている。さらに、刈り取ったヨシの新たな活用を実現したエコ文具「リエデンシリーズ」を開発し、ビジネスで活かすという企業のCSV事業モデルとなる取り組みである。

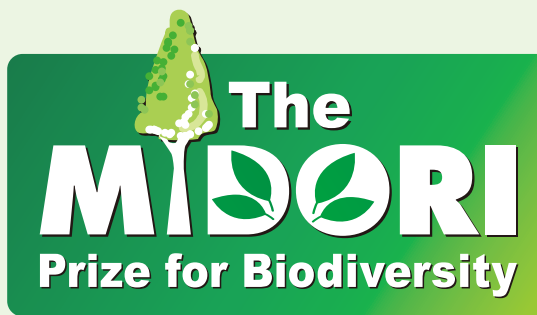
第5回
グランプリ
2017 NPO法人黒潮実感センター(高知県)
「高知県西南端柏島・島が丸ごと博物館(ミュージアム)」持続可能な里海づくり

第4回
グランプリ
2015 一般社団法人エゾシカ協会(北海道)
エゾシカの先進的な資源活用促進事業

第3回
グランプリ
2013 特定非営利活動法人田んぼ(宮城県)
津波に被災した田んぼの生態系復元力による復興

第2回
グランプリ
2011 日本雁を保護する会(宮城県)
湿地環境の指標種としてのガン類の保護およびその生息環境の保全・復元と人間との共生をめざす活動

第1回
グランプリ
2009 NPO法人アサザ基金(茨城県)
および関係企業等
地域企業との協働による谷津田の保全



当財団では、2010年に名古屋で開催された生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)と合わせ、2009年より「生物多様性日本アワード(国内賞)」と「生物多様性みどり賞(国際賞)」を隔年で開催してまいりました。その後約10年間取り組んでまいりましたが、生物多様性問題は、未だ喫緊の課題であり、世界的にも重要度が増しています。このような状況を踏まえ、当財団では、財団設立30周年を迎え、さらにこの大きな地球環境問題に向き合っていくべく、「イオン生物多様性みどり賞」に名称を統一し、国内外の生物多様性に関わる環境活動をより一層支援していくことにいたしました。本年は、本賞の国内賞を開催いたします。

【公益財団法人イオン環境財団】

当財団は、1990年「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、理事長の岡田卓也(イオン創業者/現 名誉会長相談役)により、日本で初めて、地球環境をテーマにした企業単独の財団法人として設立されました。財団設立以来、ひとつしかない地球を次世代へ引き継ぐため、国内外の多様なステークホルダーの皆さまと連携し、様々な環境活動を継続しています。代表的な事業が「植樹活動」で、これまで世界各地で地域ボランティアの皆さまとともに、伐採跡地や自然災害などで荒廃した森に植樹し、みどりの再生を実施してきました。また、環境活動に積極的に取り組んでいる非営利団体への助成や、環境人材の育成を目指した環境教育なども継続実施しています。今後は、持続可能な地域の実現を目的に、各事業をさらに進化させ、地域の皆さまと協働して、森づくりに加え、地域づくり、人づくりにも取り組み、新たな「イオンの里山」の構築を目指します。

〈お問い合わせ〉

公益財団法人イオン環境財団

第7回 イオン生物多様性みどり賞(国内賞) 事務局

〒261-8515 千葉県美浜区中瀬1丁目5番地1
TEL:043-212-6022 E-mail:ef@aeon.info

<https://www.aeon.info/ef>



第7回
イオン生物多様性
みどり賞(国内賞)

応募要項

第7回 イオン生物多様性 みどり賞(国内賞)

本賞は、学校、団体、企業、個人、皆さまの生物多様性に関する日本国内の活動の中から、顕著な成果があり、今後も発展的影響をもたらすことが期待される国内在住の学校、団体、企業、個人による取り組み・研究開発を顕彰するものです。

海、森、里山、様々な地域で「自然と人が共生する社会」の実現に向けて活動されている方は、ぜひご応募ください。

対象となる取り組み

活動領域

① 生物多様性の保全

里山の保全、森林、河川、沿岸域等の生態系の保全、野生生物の保護や生息・生育地の保全、保護地域等の自然再生・維持管理、ならびに、それらの地域の有機的なつながりの確保に寄与する取り組みおよびそれらに関する研究開発

② 生物多様性の持続可能な利活用

生物多様性により供給される食料・生物資材やサービス・景観等、自然の恵み(生態系サービス)の持続可能な利活用に寄与する取り組みおよびそれらに関する研究開発

③ 生物多様性の普及・啓発・共有

生物多様性の保全と持続可能な利活用に関する価値共有、普及啓発等の推進に寄与する取り組みおよびそれらに関する研究開発

応募資格

活動地が日本国内であること。

かつ日本国内に在住する学校・団体・企業・個人であること。

*複数の学校・団体による共同の取り組みも対象となります。

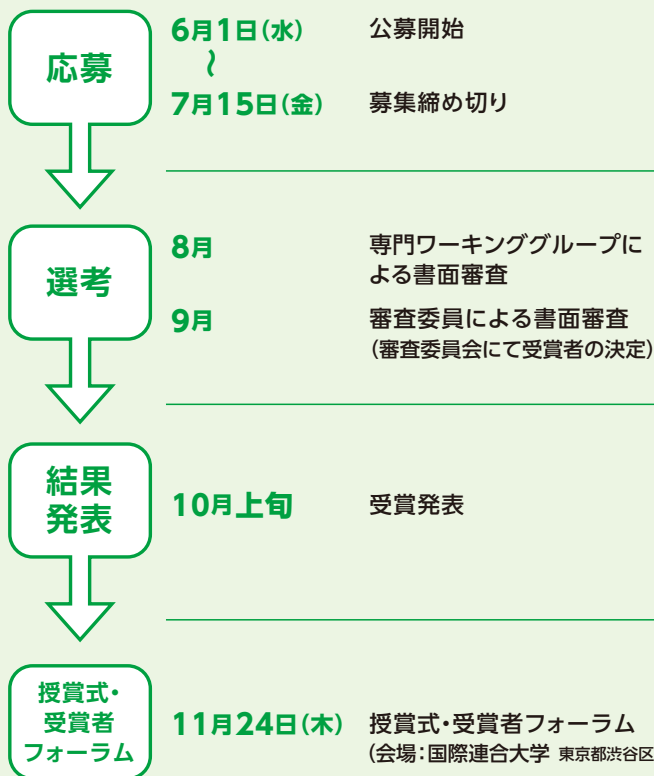
顕彰内容

グランプリ1件と優秀賞4件を表彰します。

グランプリ受賞者には表彰状と副賞**300万円**を、

優秀賞には表彰状と副賞**100万円**をそれぞれ贈呈します。

募集・選考プロセス



応募締切

2022年7月15日(金) 必着

応募方法

- ① 当財団のホームページより
応募書類一式をダウンロードしてください。
<https://www.aeon.info/ef/prize/award/about.html> 
- ② 応募書類に必要事項を記入し、必要書類とともに
ホームページの応募ページから所定のフォームに添付
してご提出ください。
(応募用紙の書式変更は不可)
- ③ 取り組み対象分野の有識者1名(応募団体の構成員または
利害関係者は不可)の推薦状が必要です。
郵送での応募を希望される場合は、下記住所までご送付
ください。持ち込みでの受付はしていません。

その他

- ① 本賞および生物多様性に関する多様な取り組みを幅広く
周知するため、受賞した団体・個人の皆さまにはイベント
および広報に関するご協力をお願いします。
- ② 応募申請書および審査時に応募者から得た情報は、当
財団の事業の目的以外に使用しません。なお、特に守秘
を要する情報がある場合は申請時にお申し出ください。

〒261-8515 千葉県美浜区中瀬1丁目5番地1
(公財)イオン環境財団
第7回 イオン生物多様性みどり賞(国内賞) 事務局 宛